

# 2010年度1Q決算の概要

2010年7月29日  
住友金属工業株式会社

本資料で記述されている業績予想並びに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。

そのため様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

なお、本資料中、「粗鋼生産量」「鋼材販売量」「鋼材平均価格」と記載しているものは、(株)住友金属小倉、(株)住友金属直江津、(株)住金鋼鉄和歌山を含んだ数値となっております。

資料中のEBITDAは、営業利益+減価償却費（有形）で算定しております。

# 10年度1Q決算ハイライト

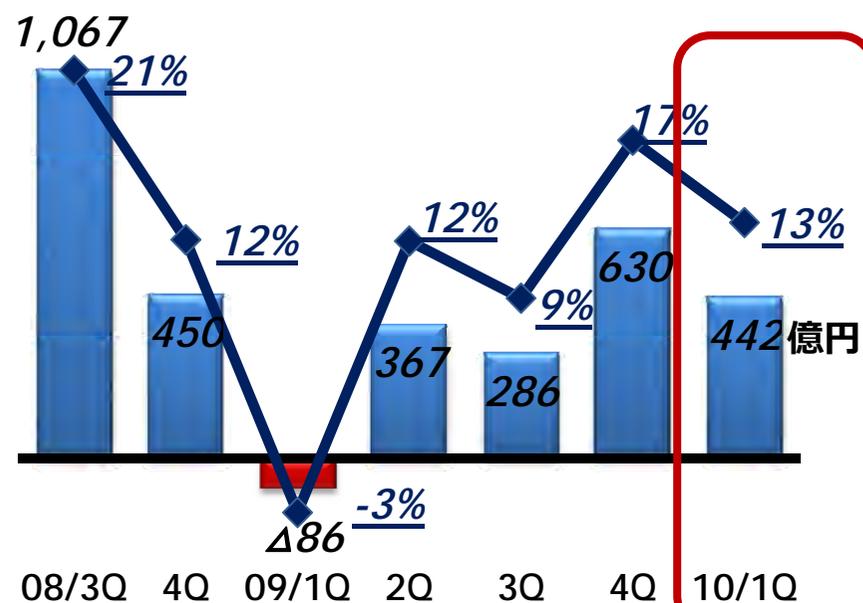
		(前年同期比)
● 売上高	3,416億円	(511億円)
● 営業利益	142億円	(488億円)
● 経常利益	94億円	(511億円)
● 当期利益	44億円	(368億円)
● EBITDA	442億円	(528億円)

- 需要は概ね堅調に推移
- シームレスパイプ需要も緩やかに回復
- 収益は、原材料コスト高騰と価格改善のタイムラグを主体に前期比では減少、前年同期比では一過性要因影響もあり好転

## 全社販売量と シームレスパイプ販売量の推移

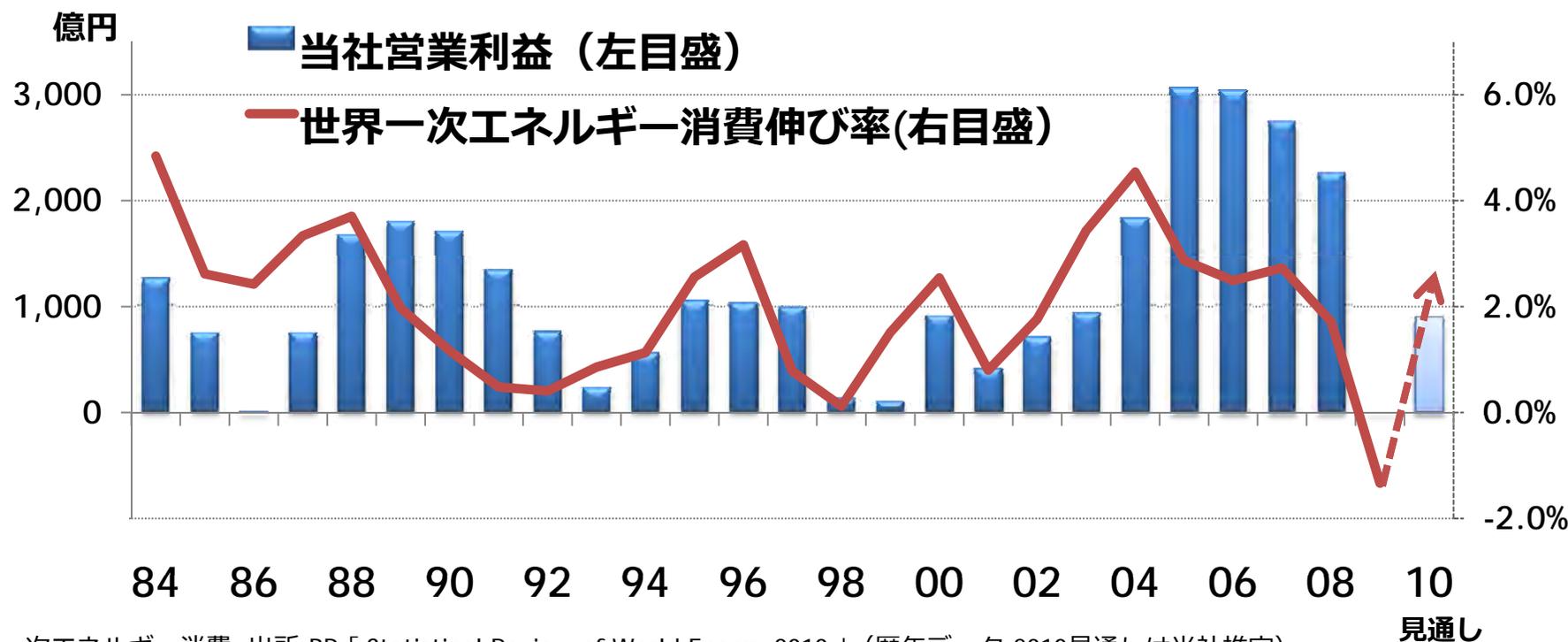


## EBITDAと EBITDAマージン推移



# 10年度通期業績見通し

- 下期以降の汎用品需給動向、原材料価格等の不透明要因はあるが、当社の得意とするエネルギー向け・自動車向け等の高級鋼材は、概ね上期同様の回復傾向を継続するものと見込む
- 価格改善タイムラグの解消やコストダウン等の収益改善策により、前回想定通りの営業利益900億円の確保に努める
- 尚、当期利益見通しは繰延税金資産の計上を見込み600億円に上方修正



一次エネルギー消費 出所:BP「Statistical Review of World Energy 2010」(暦年データ,2010見通しは当社推定)

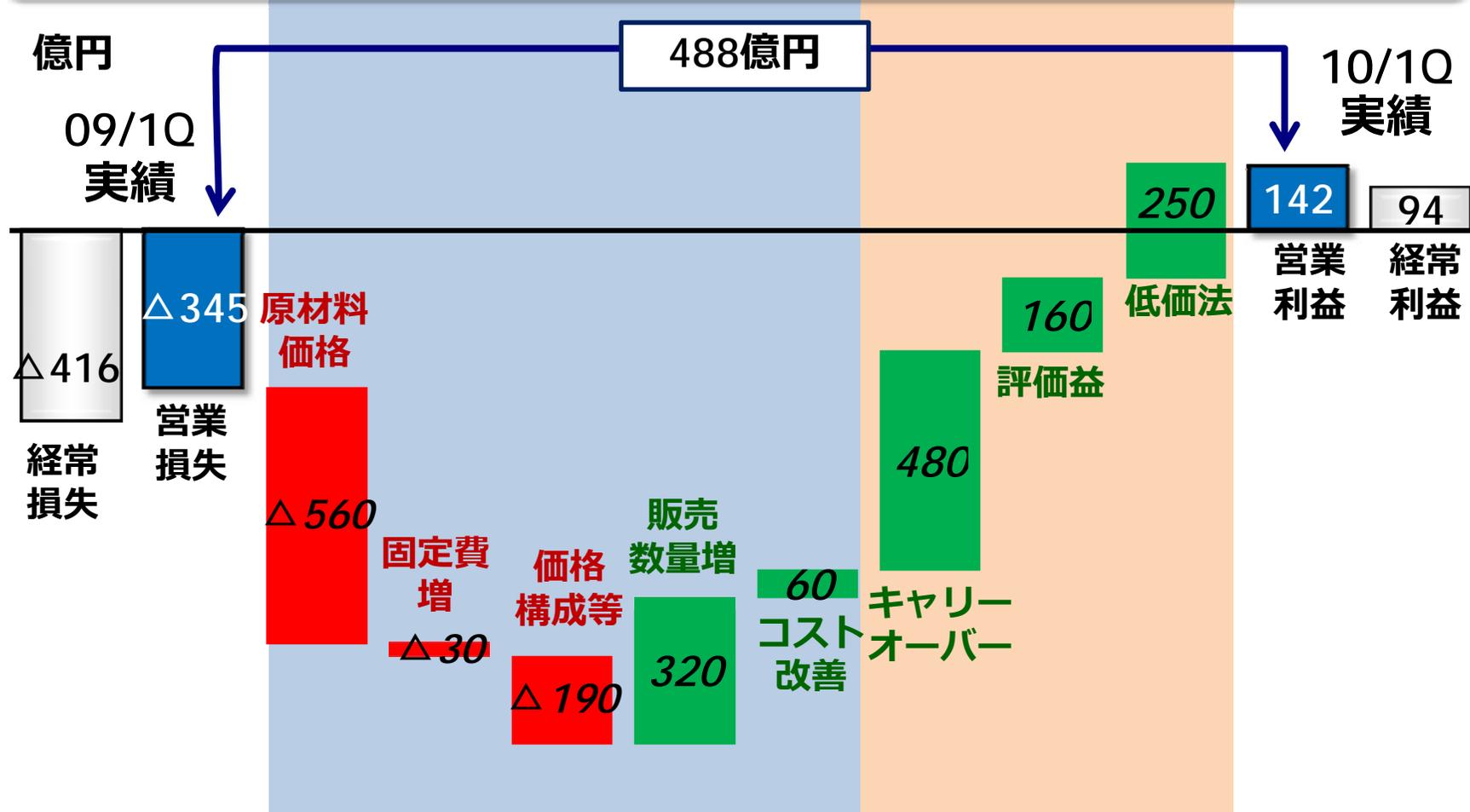
# 10年度1Q決算実績

# 10年度1Q決算概要

億円	09				10/ 1Q	増減	
	1Q	2Q	3Q	4Q		YoY	QoQ
売上高	2,904	3,082	3,260	3,610	3,416	511	△194
営業利益	△345	63	△31	302	142	488	△159
経常利益	△416	△59	△110	220	94	511	△125
特別損益	-	△31	-	-	-	-	-
法人税等 少数株主損益	92	△52	2	△143	△50	△143	93
当期純利益	△323	△143	△107	77	44	368	△32
1株当り 純利益(円)	△6.98	△3.09	△2.33	1.66	0.97	7.95	△0.69
EBITDA (億円)	△86	367	286	630	442	528	△188
為替レート (円/\$)	97	94	90	91	92	5円高	1円安

# 営業利益増減 (09/1Q→10/1Q)

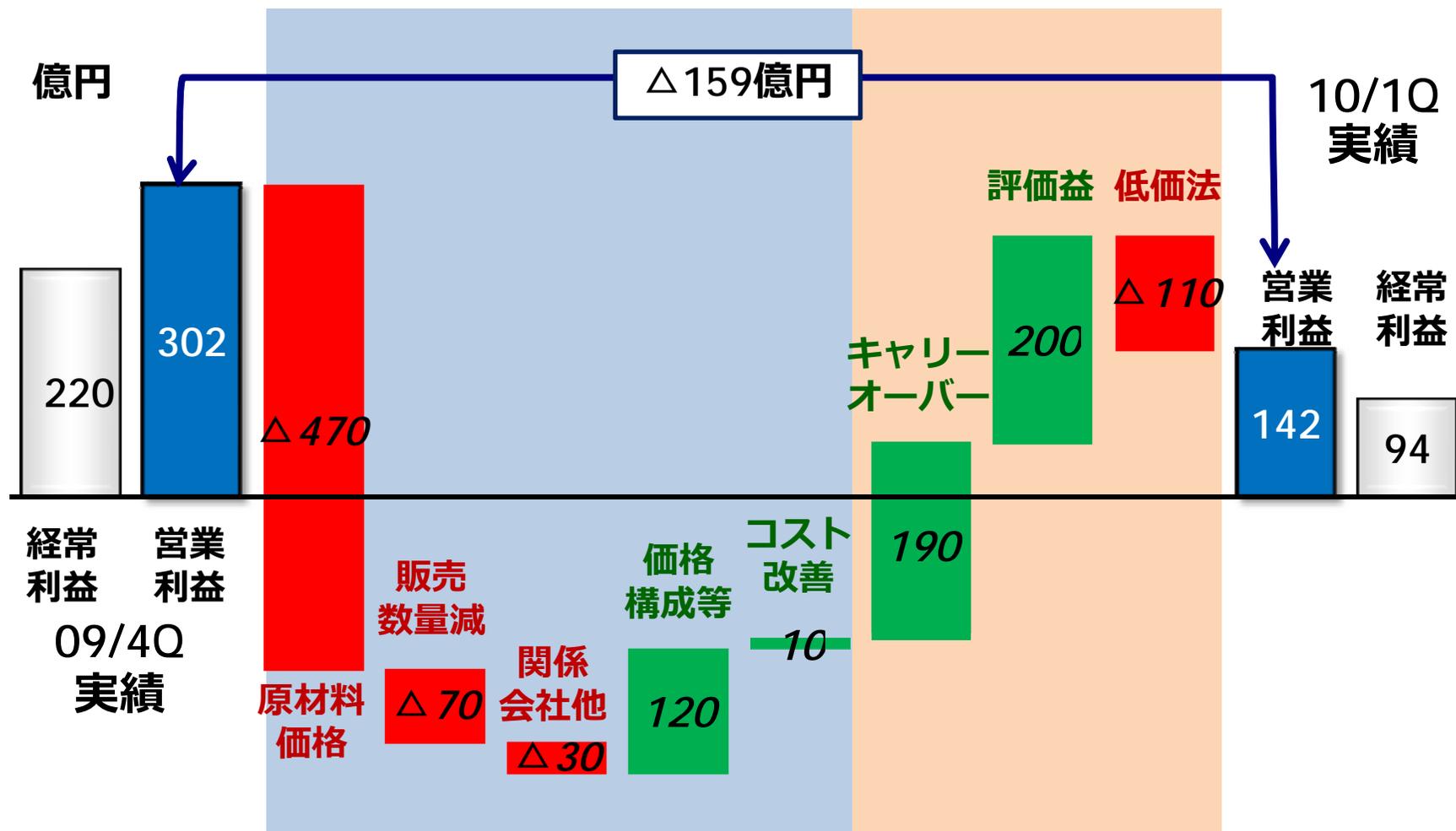
原材料価格高騰、販売価格改善タイムラグ等の悪化要因はあるが、販売数量の回復に加え、キャリーオーバー・評価益等の一過性要因影響もあり損益は大幅に改善



- 持分法損益 <09/1Q> △54億円 → <10/1Q> 12億円

# 営業利益増減 (09/4Q→10/1Q)

原材料価格高騰、販売価格改善タイムラグ等に加え、季節要因による販売量減もあり損益は後退



- 持分法損益 <09/4Q> △64億円 → <10/1Q> 12億円

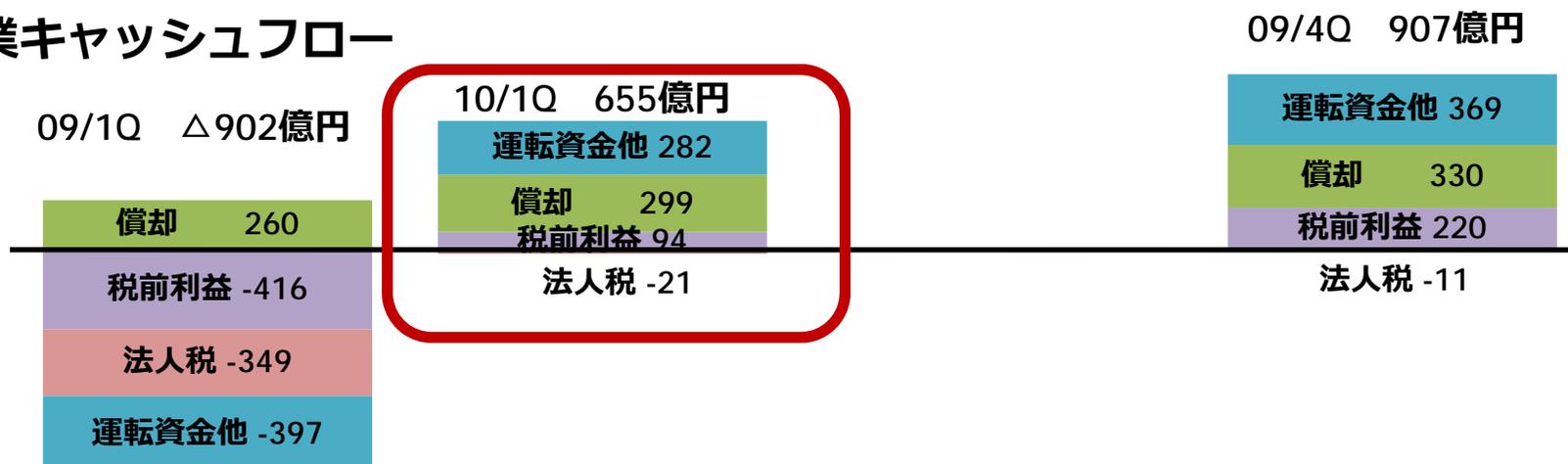
# 10/6E BS概況

- 営業CFの改善に伴い、借入金は減少
- D/Eレシオは有価証券の評価差額金の減少等により若干悪化

億円	09			10		%	10/3E 増減
	6E	9E	12E	3E	6E		
【資産】							
流動資産	6,921	6,394	6,529	6,064	6,079	0.3	15
固定資産	17,521	17,725	17,954	17,972	17,754	△1.2	△217
資産合計	24,442	24,120	24,483	24,036	23,834	△0.8	△202
【負債および純資産】							
流動負債	6,945	5,971	6,784	6,393	6,661	4.2	267
固定負債	8,584	9,408	9,119	8,851	8,716	△1.5	△134
純資産	8,912	8,740	8,579	8,792	8,456	△3.8	△335
借入残高	11,278	11,487	11,774	11,383	11,280	△0.9	△103
D/Eレシオ	1.39	1.39	1.46	1.37	1.42		0.05

# 10/1Q キャッシュフローの状況

## 営業キャッシュフロー



## 投資キャッシュフロー



	09/6E	09/9E	09/12E	10/3E	10/6E
借入金	11,278 億円	11,487 億円	11,774 億円	11,383 億円	11,280 億円
現預金	381 億円	210 億円	226 億円	262 億円	236 億円
ネット借入金	10,896 億円	11,276 億円	11,547 億円	11,121 億円	11,043 億円

# 10年度見通し

# 10年度 業績見通し概況

- 価格改善タイムラグの縮小や、シームレスパイプ価格改善の進展等により損益は下期にかけ徐々に改善に向かうと予想
- 下期原材料価格/汎用品需給等の不透明要因はあるが、販売改善とコスト改善により、期初目標通り営業利益900億円の確保に努める

※見通しは全て概数

億円	上期	09年度	10年度			〔4/28見通し〕	10年度見通し	上期増減	年度増減
			1Q	2Q見通し	上期見通し				
売上高	5,987	12,858	3,416	3,780	7,200	[N.A.]	N.A.	1,212	N.A.
営業利益	△280	△9	142	160	300	[900]	900	580	909
経常利益	△476	△366	94	160	250	[800]	800	726	1,166
特別損益	△31	△31	-	-	-	[-]	-	31	31
当期純利益	△466	△497	44	200	250	[500]	600	716	1,097
1株当り純利益(円)	△10.07	△10.74	0.97	4.31	5.39	[10.79]	12.94	15.46	23.68
EBITDA	282	1,199	442	480	920	[2,200]	2,200	637	1,000
借入残高	11,487	11,383	11,280	11,200	11,200	[11,000]	11,000	△287	△383
D/Eレシオ	1.39	1.37	1.42	1.37	1.37	[1.29]	1.32	△0.02	△0.05

# 10年度 販売量等の見通し

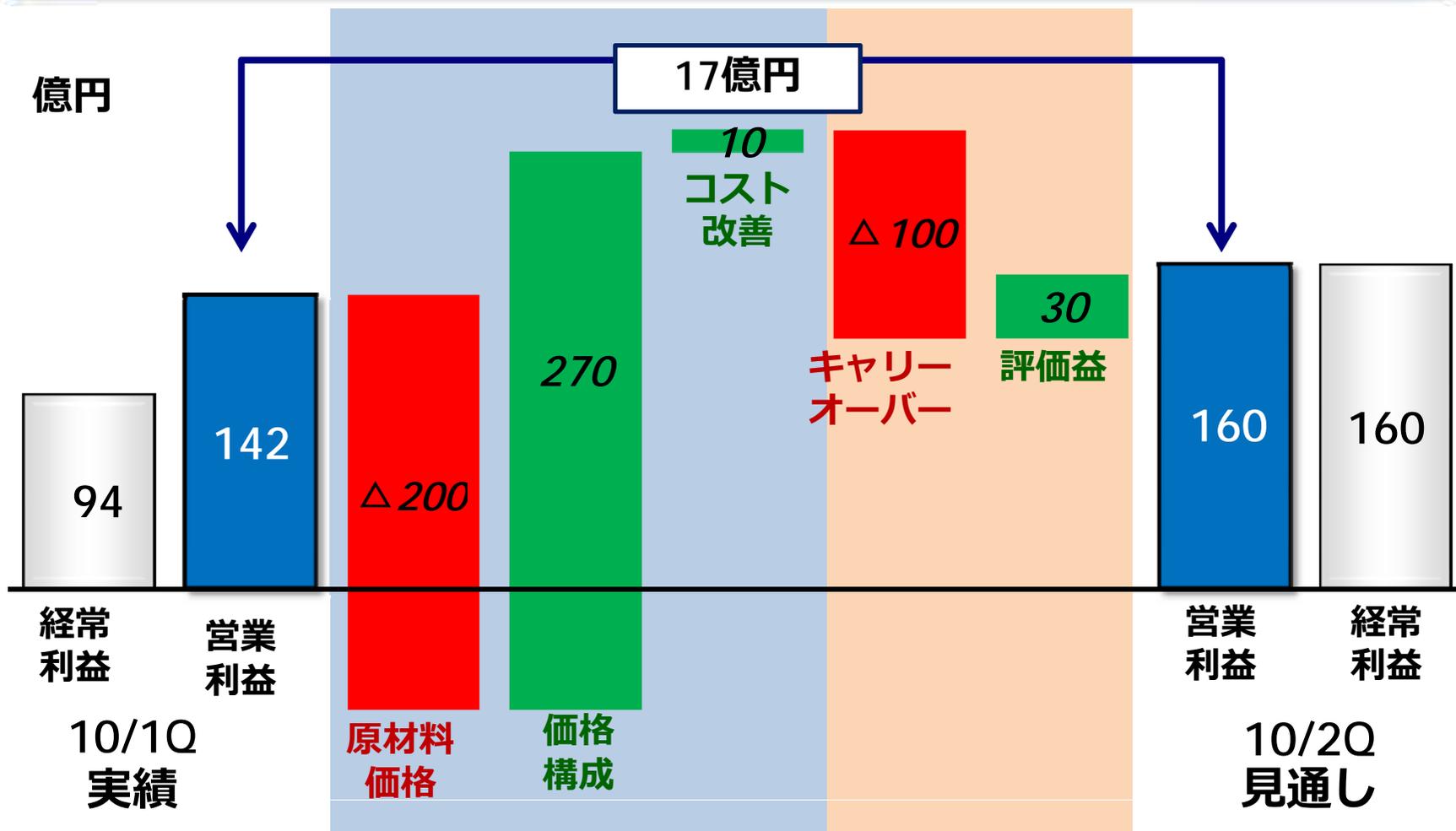
- 汎用品需給には不透明感もあるが、当社の主力である自動車等製造業向け高級品は内外とも引続き堅調に推移
- シームレスパイプ等エネルギー向け鋼材は、緩やかな回復トレンドが続く

			09年度					〔4/28見通し〕	10年度見通し	09年度増減												
	上期	下期		1Q	2Q見通し	上期見通し	下期見通し															
為替レート (円/\$)	95	90	93	92	90	91	90	[90]	91	2円高												
粗鋼生産量 (万ト)	507	658	1,165	335	335	670	720	[1,370]	1,390	225												
鋼材販売量 (万ト)	451	638	1,089	304	304	608	664	[1,257]	1,272	183												
シームレスパイプ 販売量(万ト)	37	42	79	23	24	47	48	[90]	95	16												
鋼材 平均単価 (千円/ト)	国内	100.7	88.4	93.3	92.7	103	98	<table border="1"> <thead> <tr> <th>億\$</th> <th>09年度</th> <th>10上見通し</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受取</td> <td>46</td> <td>26</td> </tr> <tr> <td>支払</td> <td>△39</td> <td>△28</td> </tr> <tr> <td>外貨バランス</td> <td>7</td> <td>△2</td> </tr> </tbody> </table>			億\$	09年度	10上見通し	受取	46	26	支払	△39	△28	外貨バランス	7	△2
	億\$	09年度	10上見通し																			
	受取	46	26																			
支払	△39	△28																				
外貨バランス	7	△2																				
輸出	93.0	74.5	82.4	82.3	89	86																
平均	96.8	81.7	88.0	87.7	96	92																

※住金小倉、住金直江津、住金鋼鉄和歌山を含む  
 ※見通しは全て概数

# 営業利益増減（10/1Q→10/2Q見通し）

原材料価格は更に上昇するが、販売価格改善の進展等によりカバーし、損益は若干の好転を見込む



- 持分法損益 <10/1Q> 12億円 → <10/2Q見通し> 7億円

# 鋼材品種別販売状況



## 鋼板・建材

薄板：自動車分野での内外の堅調な需要を背景に、好調な販売が継続  
 厚板：造船建造ペースはスローダウン、建機は復調、エネルギー開発プロジェクト向けは増加基調  
 建材：内需は建築・土木向けとも低迷が続く

## 鋼管

シームレス：エネルギー向けの緩やかな回復に加え、自動車・建機向けも好調、販売量見通しは95万ト程度  
 大径管：大型プロジェクト案件受注により数量は回復

## スラブ

計画通り通期で280万ト規模（国内100万ト/輸出180万ト）の販売

## 特殊鋼

主力の自動車・建機向けは、国内・輸出とも好調

## 交通産機品他

鉄道車両品：需要は堅調に推移  
 クランクシャフト：国内・輸出とも増販基調が継続  
 チタン：在庫調整の進展に伴い、販売数量は回復基調

※見通しは全て概数

# シームレスパイプ販売の見通し

## シームレスパイプ10年度販売量見通し

95万トン程度

OCTG 長期契約	<ul style="list-style-type: none"> <li>需要回復に伴い、受注は増加傾向</li> </ul>
OCTG SPOT品	<ul style="list-style-type: none"> <li>中国品の非米マーケットへの流入は続いているが、リグカウントの増加に伴いマーケットは回復基調</li> </ul>
ライン パイプ	<ul style="list-style-type: none"> <li>店売り、プロジェクト向けとも数量は回復傾向</li> </ul>
特殊管	<ul style="list-style-type: none"> <li>原子力向けは高水準継続、USCボイラの回復は11年度から</li> </ul>
自動車・ 建機他	<ul style="list-style-type: none"> <li>需要回復に伴い、順調に数量回復中</li> </ul>

リグカウント の状況	08年 平均	09年 平均	最近のピーク		最近のボトム		直近	
米国	1,879	1,089	<100>	(08/9) 2,031	<43>	(09/6) 876	<78>	(10/7/23) 1,585
深井戸 (≥15,000ft)	283	249	<100>	(10/5) 381	<55>	(09/6) 211	<94>	(10/6) 357
北米・露・中 を除く世界	1,079	997	<100>	(08/9) 1,108	<85>	(09/8) 947	<99>	(10/6) 1,099

出所: Baker Hughes, Smith international

# セグメント・カンパニー別売上高等の状況

## セグメント・カンパニー別売上高

※見通しは全て概数

億円				10年度			1Q 増減	上期 増減
	1Q	上期	09年度	1Q	2Q見通し	上期 見通し		
鋼板・建材	989	2,233	4,985	1,356	1,490	2,850	366	616
鋼管	1,228	2,307	4,729	1,220	1,330	2,550	△7	242
交通産機品	198	409	866	234	270	500	36	90
住友金属小倉	207	414	1,016	304	400	700	97	285
住友金属直江津 他	110	212	460	130	160	300	20	87
鉄鋼セグメント計	2,733	5,577	12,058	3,246	3,650	6,900	513	1,322
その他	171	409	799	169	130	300	△1	△109
売上高計	2,904	5,987	12,858	3,416	3,780	7,200	511	1,212

### (参考) 鉄鋼セグメント主要カンパニー営業利益 (概数)

鋼板・建材	△330	△140	△40	60	60	120	390	260	
鋼管	鋼管	80	130	160	0	30	30	△80	△100
	スラブ	△110	△170	△200	20	△20	0	130	170
住友金属小倉	0	△130	△70	0	30	30	0	160	
鉄鋼セグメント計	△344	△295	△76	126	140	260	470	555	
その他	△1	15	66	16	20	40	17	26	
営業利益計	△345	△280	△9	142	160	300	488	580	

## 利益配分に関する基本方針

- 「質」と「規模」のバランスの取れた持続的成長を通じて企業価値を最大化
- 事業が生み出すキャッシュは、企業価値を高める投資に充当
- 投資戦略は以下を基準に実施し、その成果を株主の皆様に還元
  - ➡ 差別化の加速に資する投資であること
  - ➡ 資本コストを上回る便益をあげて企業価値向上に貢献すること
- 配当は安定配当を基本とする

## 財務体質運営指針

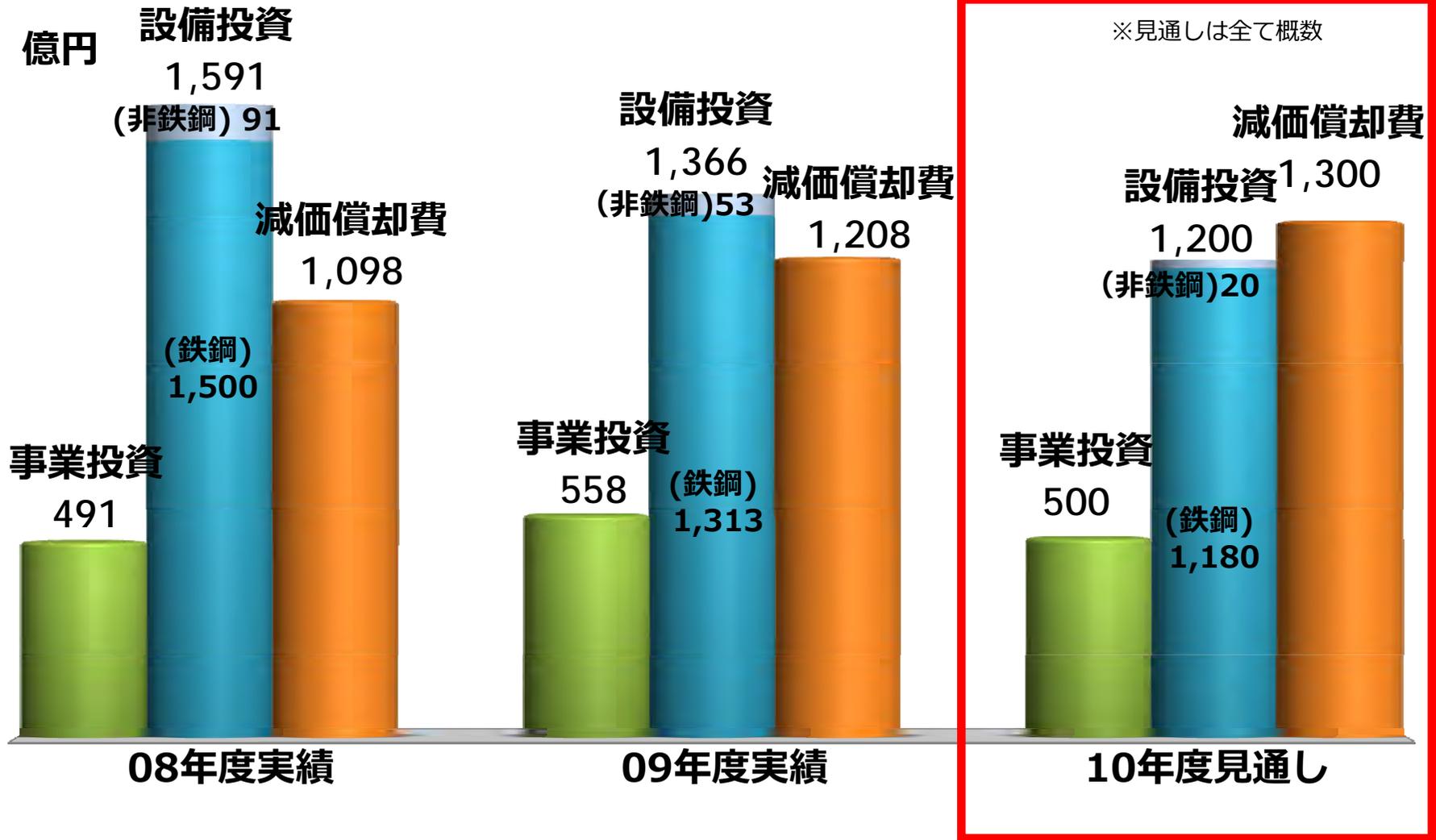
- D/Eレシオで 1.0未満を目標として運営

## 当期（11/3月期）配当予想

- 5円/株（中間配当 2.5円/株, 期末配当 2.5円/株）

# 事業投資・設備投資・減価償却費の見通し

設備投資額は工事ベース  
事業投資額は支払いベース



# 主要設備投資・事業投資の進捗

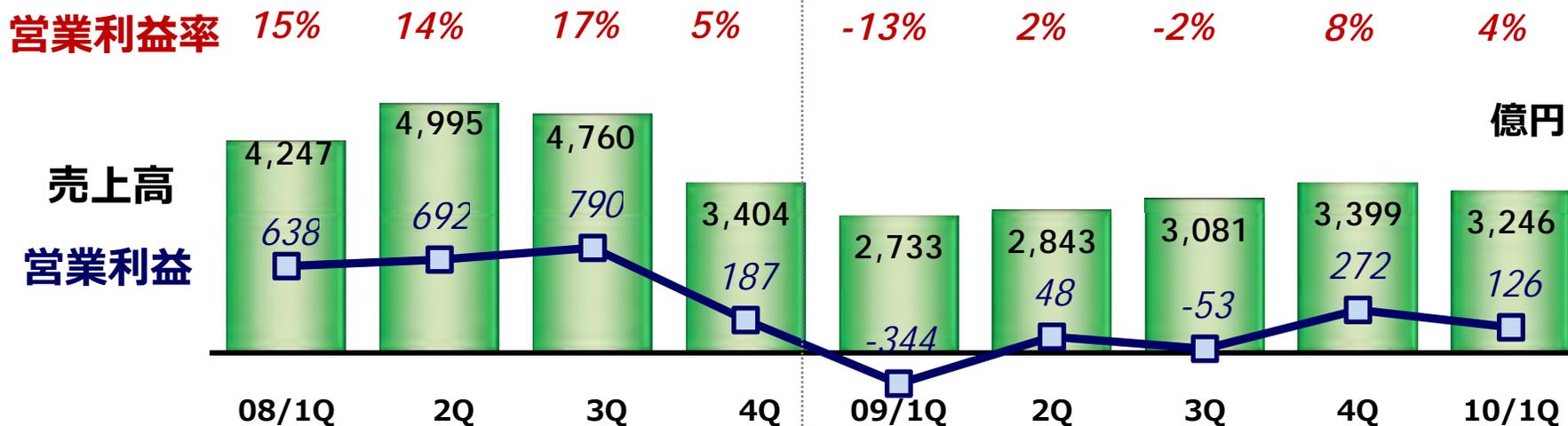
稼働予定年月で記載		投資額	FY09	FY10	FY11	FY12	FY13	FY14
<b>設備投資</b>								
鋼管	和歌山上工程更新 新第1高炉+環境対応強化等 新第2高炉+CC増強等	1,600 億円 1,150 億円	→ 09/7					
	超高強度ラインパイプ増産	100 億円						→ 12/下期
	原子力発電用SG管増産	140 億円						→ 13/4
その他	住金小倉製鋼プロセス革新	270 億円						→ 10/10
	総合研究所リニューアル機能強化	100 億円						→ 12/5
<b>事業投資</b> (*JVの場合の投資額はJV合計額)								
鋼板建材	ベトナム薄板JV (CSVC)	*1,150 億円						→ 12年
	インドブーシャン社 オリッサ PJ " 西ベンガル PJ	技術援助 FS中						→
鋼管	ブラジル高炉一貫シームレス(VSB)	*2,000 億円						→ 10年秋
	バローレックとの資本提携 シームレス特殊継手ネジ切り事業強化	113 億円 80 億円						● 株式取得 → 09/2 →
交通産機	インドクランクシャフト合併	*10 億円						● 10/4

# 參考資料

# セグメント別売上高・営業利益 四半期別推移

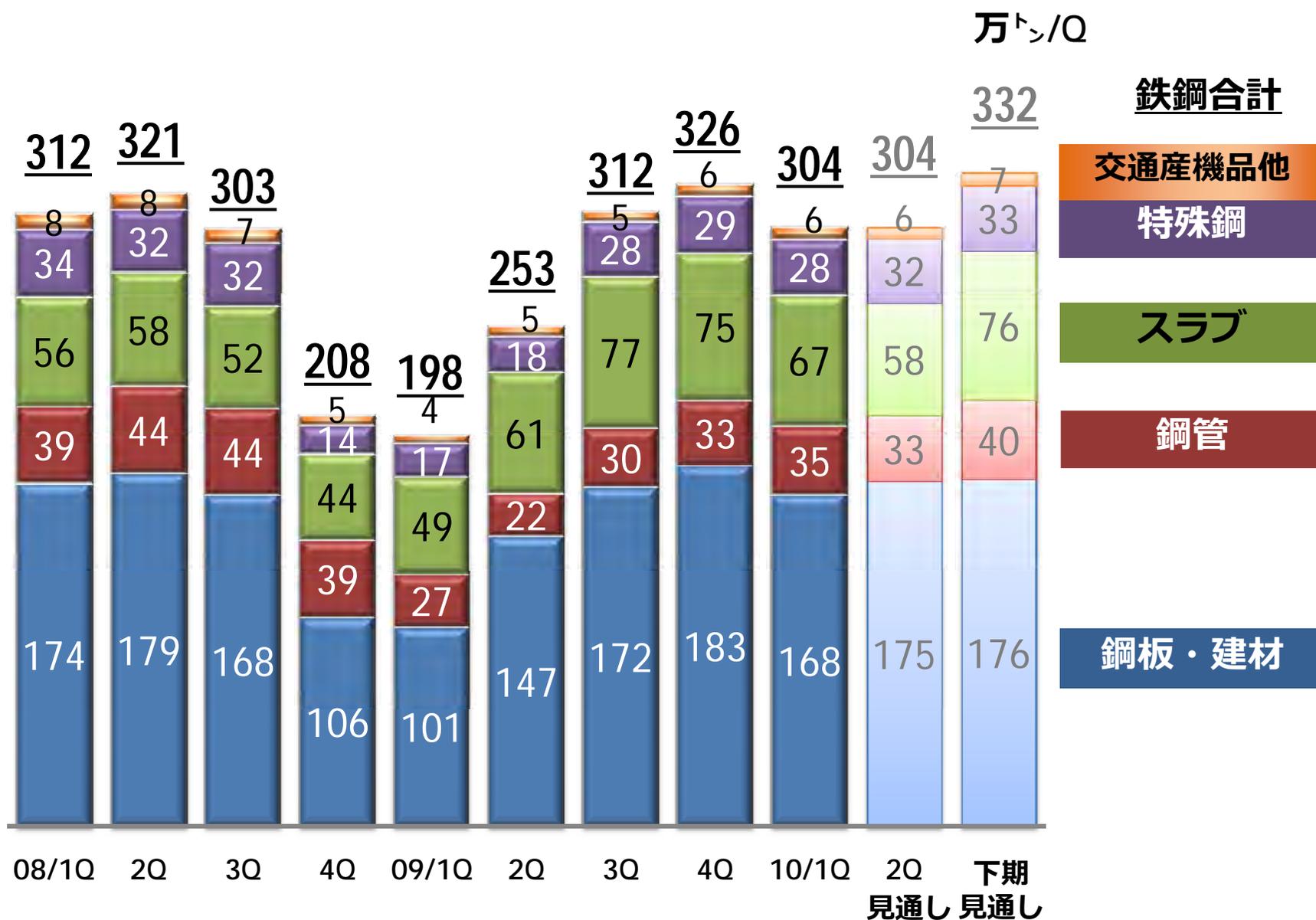
億円	08/1Q	2Q	3Q	4Q	09/1Q	2Q	3Q	4Q	10/1Q
鉄鋼	4,247	4,995	4,760	3,404	2,733	2,843	3,081	3,399	3,246
エンジニアリング	21	30	23	41					
エレクトロニクス	159	136	95	62					
その他	93	128	132	110	171	238	178	211	169
連結売上高	4,522	5,290	5,012	3,618	2,904	3,082	3,260	3,610	3,416
鉄鋼	638	692	790	187	-344	48	-53	272	126
エンジニアリング	-1	-3	0	2					
エレクトロニクス	1	-3	-9	-34					
その他	-16	0	9	7	-1	14	22	29	16
連結営業利益	621	686	790	162	-345	63	-31	302	142

## 鉄鋼セグメント



# 鋼材品種別販売量推移

※見通しは全て概数



# 10年度上期 一過性要因

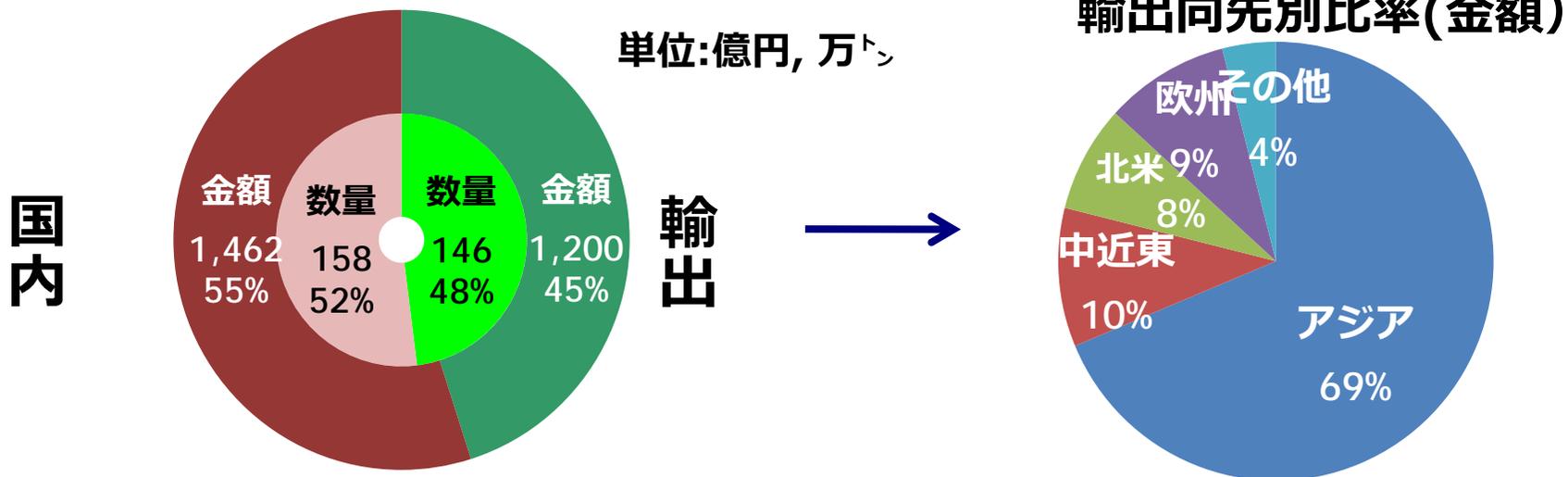
24

Cf) P7 P8 P14

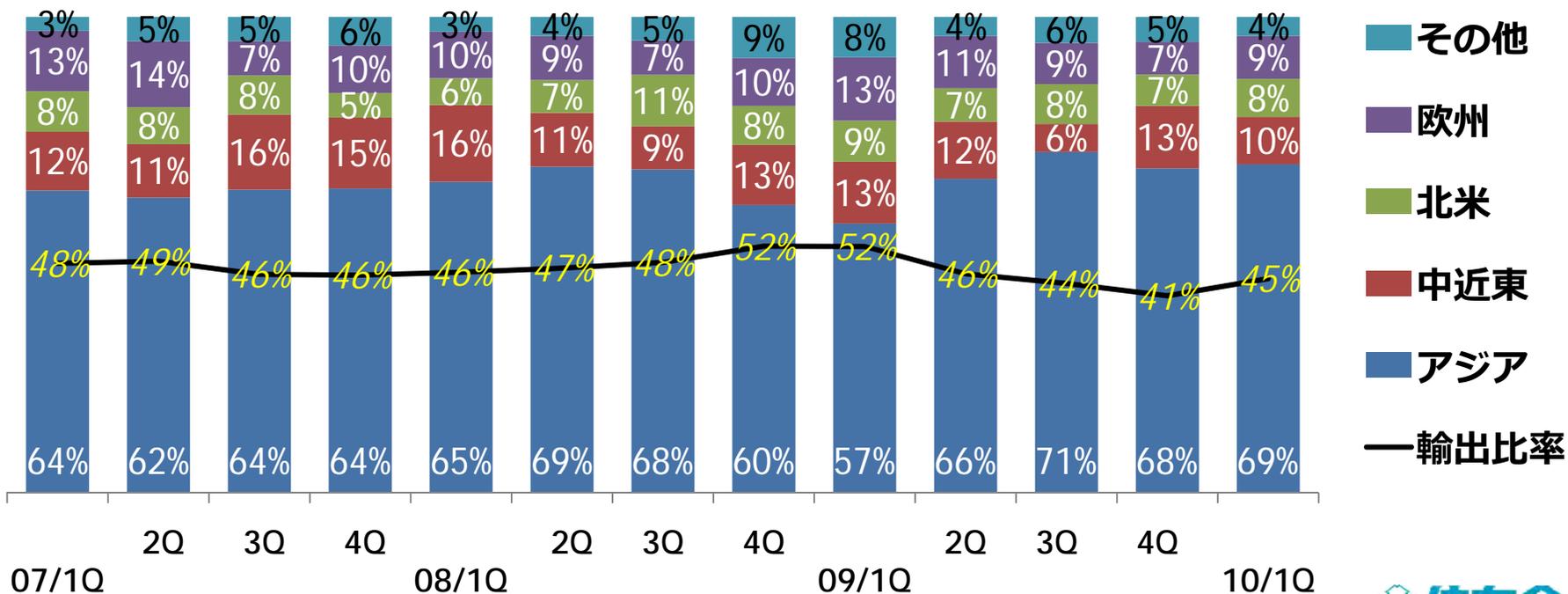
億円						10年度上期見通し			Cf) P7	P8	P14
	1Q	2Q	3Q	4Q	09年度	1Q	2Q見通し	10年度上期見通し	09/1Q vs 10/1Q	09/4Q vs 10/1Q	10/1Q vs 10/2Q見通し
キャリーオーバー	△290	△80	△50	0	△420	190	90	280	480	190	△100
評価損益	△530	△150	△160	△40	△880	160	60	220	690	200	△100
原価差額調整計算	440	△110	△160	△90	80	△90	40	△50	△530	0	130
<b>評価損益計</b>	<b>△90</b>	<b>△260</b>	<b>△320</b>	<b>△130</b>	<b>△800</b>	<b>70</b>	<b>100</b>	<b>170</b>	<b>160</b>	<b>200</b>	<b>30</b>
期首戻し	200	450	270	160	200	50	50	50			
期末適用	△450	△270	△160	△50	△50	△50	△50	△50			
棚卸簿価(低価法)	△250	180	110	110	150	0	0	0	250	△110	-
<b>一過性要因計(概数)</b>	<b>△630</b>	<b>△160</b>	<b>△260</b>	<b>△20</b>	<b>△1,070</b>	<b>260</b>	<b>190</b>	<b>450</b>	<b>890</b>	<b>280</b>	<b>△70</b>

\*全て10億円単位概数

# 10/1Q 鋼材 国内・輸出別売上高



## 鋼材輸出向先別比率(金額) の推移



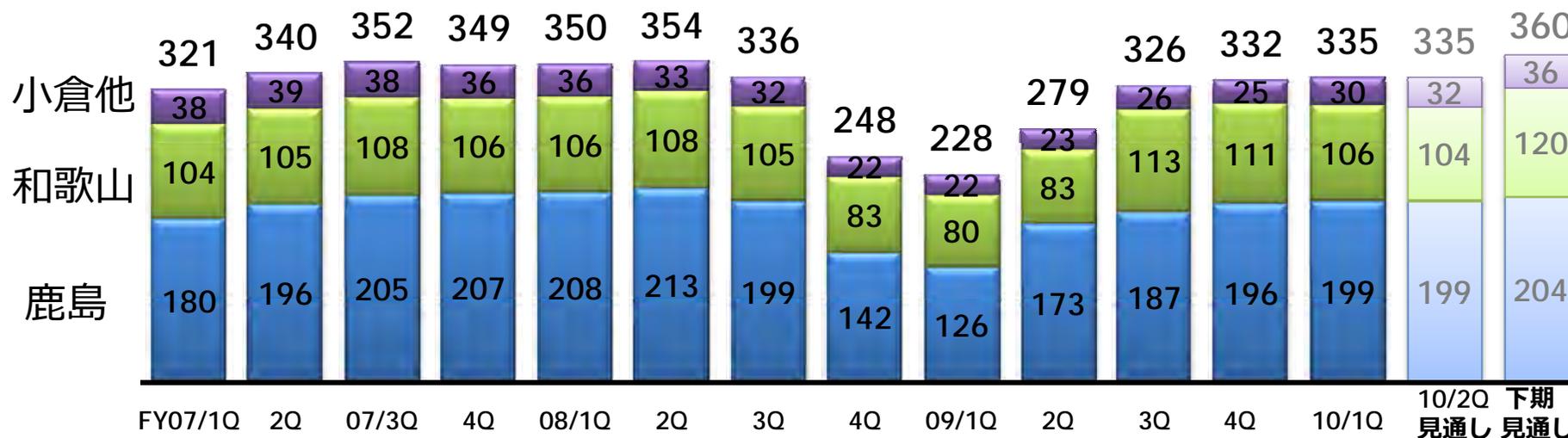
# 参考数値 (1)

※見通しは全て概数

26

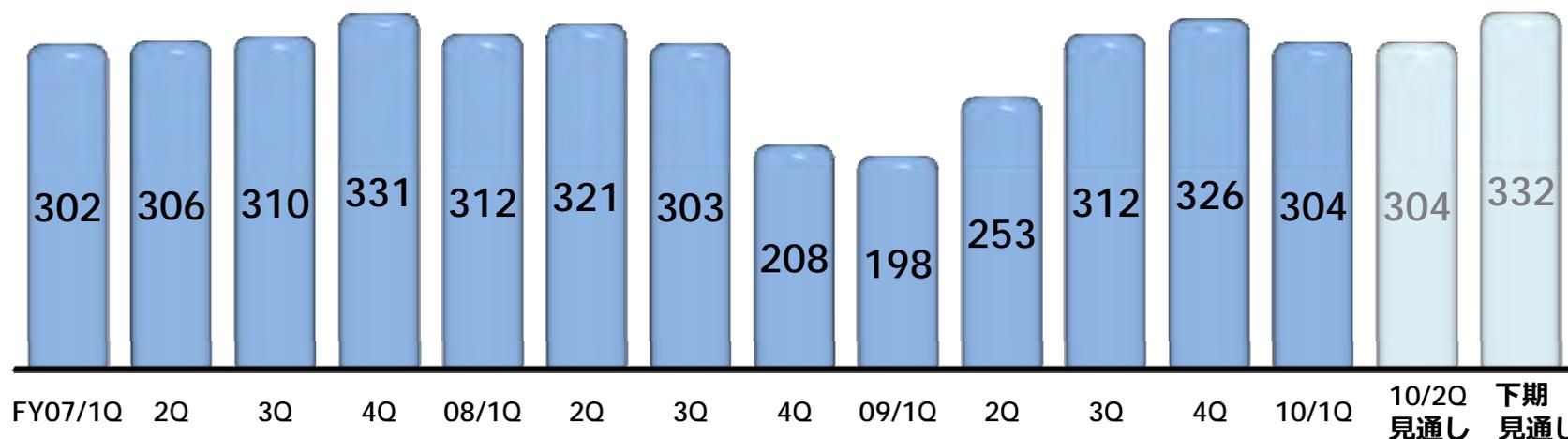
## 当社粗鋼生産量

万ト/Q



## 当社鋼材販売量

万ト/Q

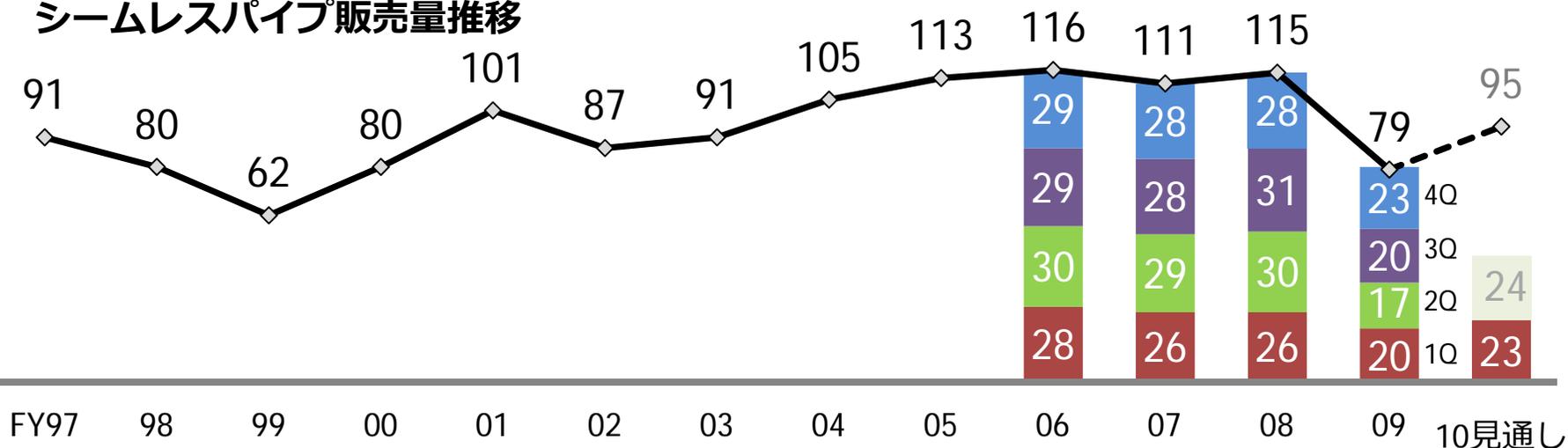


# 参考数値 (2)

## シームレスパイプ販売量推移

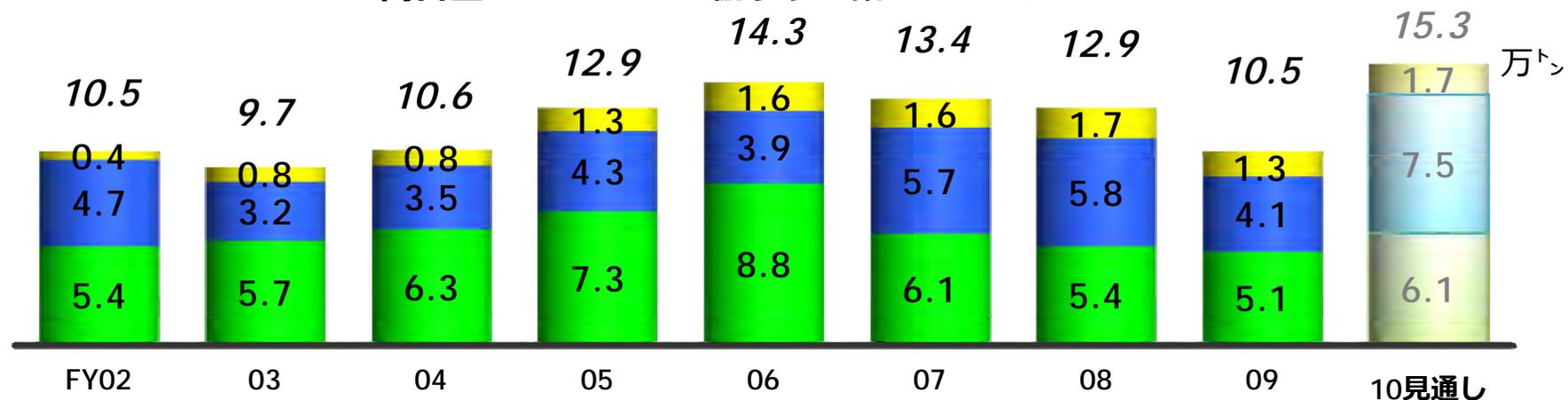
※見通しは全て概数

万トン



## シームレスパイプ スーパーハイエンド品 販売量推移

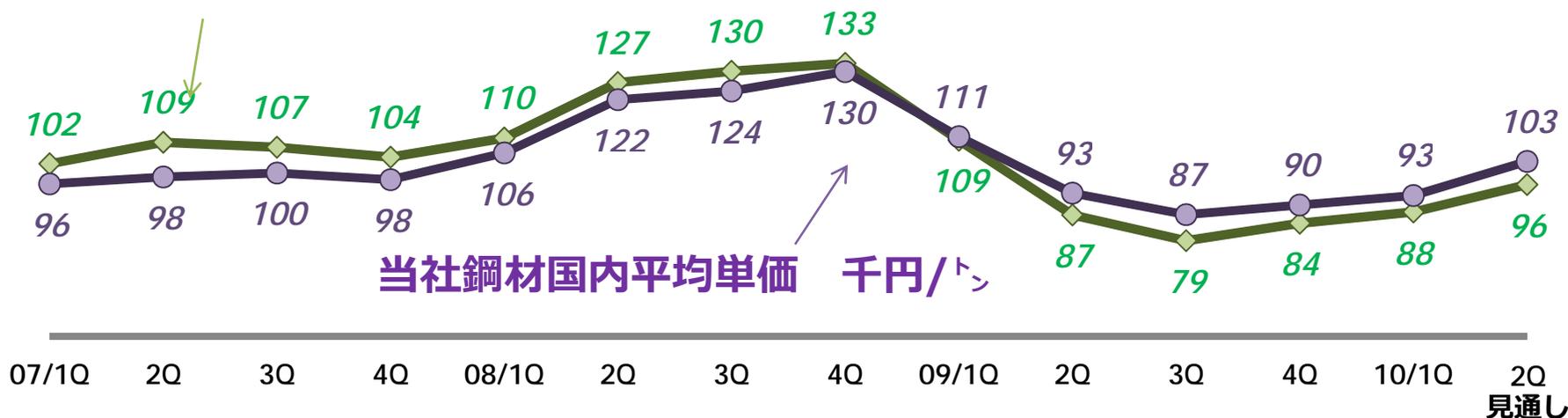
■ 高合金OCTG ■ 耐サワー鋼 ■ 13CR



# 参考数値 (3)

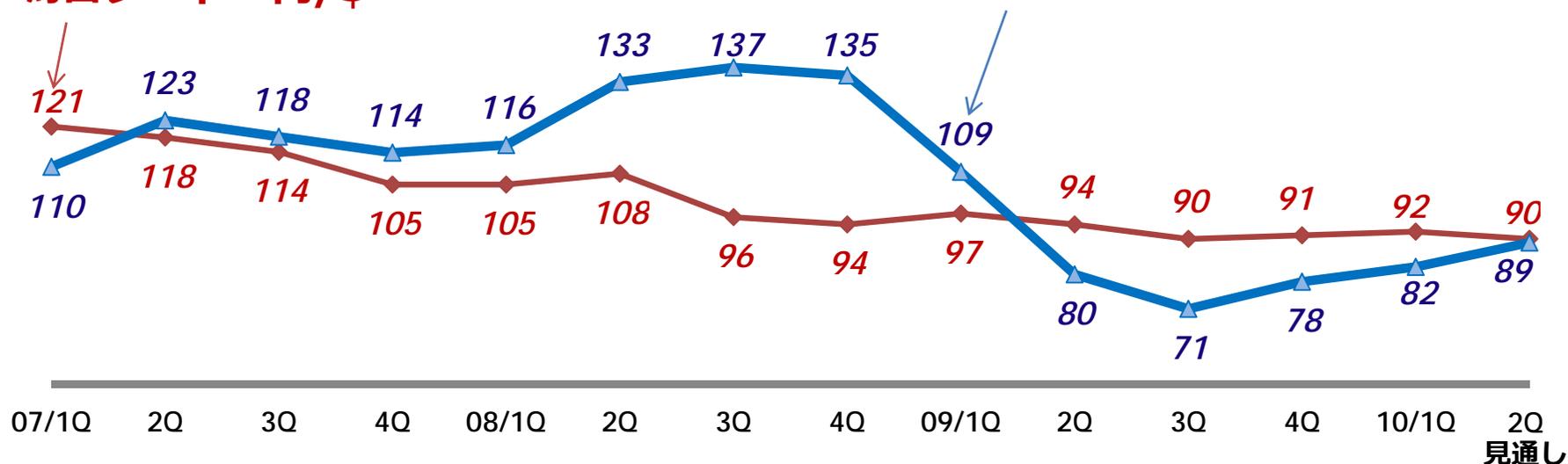
※見通しは全て概数

## 当社鋼材全平均単価



## 為替レート 円/\$

## 当社鋼材輸出平均単価 千円/トン

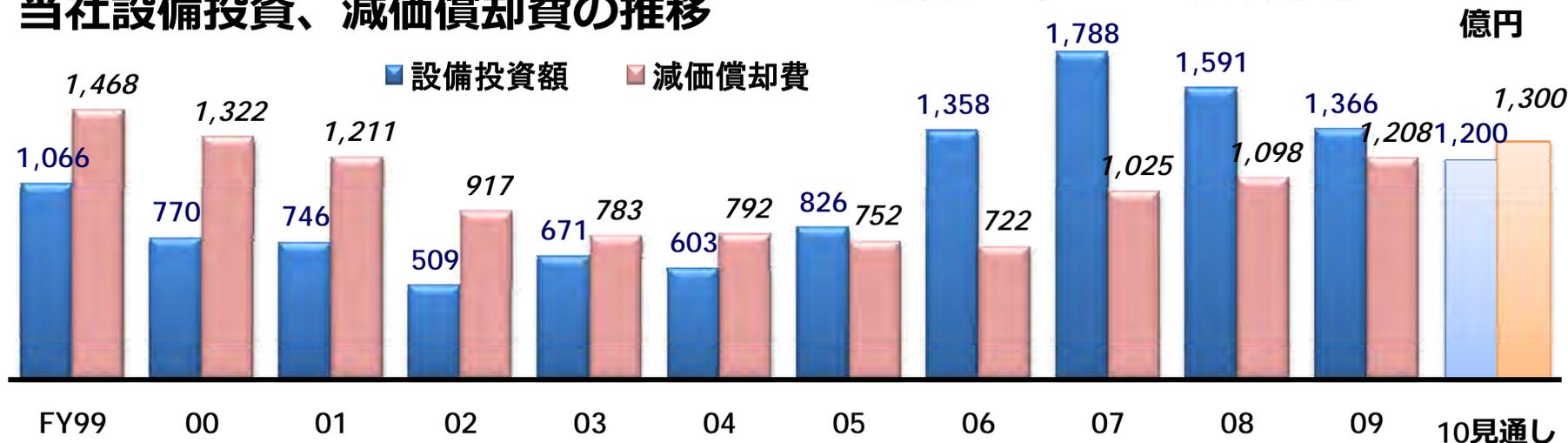


# 参考数値 (4)

※見通しは全て概数

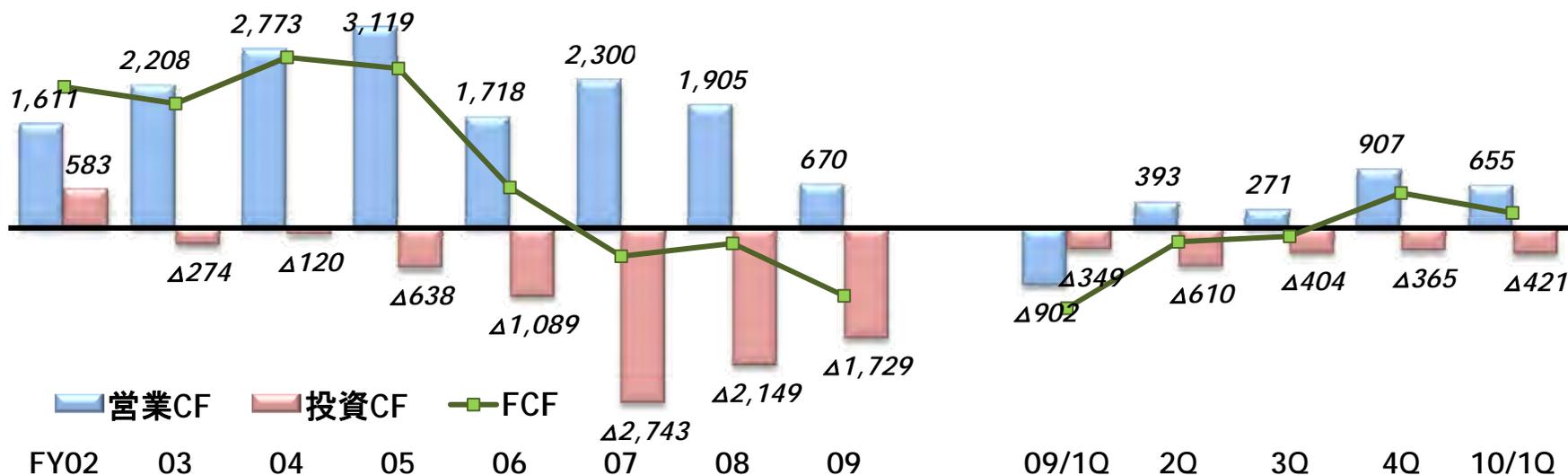
## 当社設備投資、減価償却費の推移

※設備投資は工事ベース \*有形固定資産のみ



## フリーキャッシュフローの推移

2,194 1,934 2,653 2,480 628 Δ442 Δ243 Δ1,059 Δ1,252 Δ217 Δ132 542 233 億円



「質重視」による企業価値の  
持続的向上を目指す



ステークホルダーの皆様から  
信頼される会社へ